

つけていきたい力

生徒が日々の学び方を自ら選択することで、
主体的に学ぶ姿勢を育み、深く学ぶ力を伸ばす。

具体的な取組みの内容 学びの主体を生徒に委ねた授業の実践（3年 社会科「くらしを支える地方自治」を例に）

自己調整（自己決定）の構想を視覚化した単元計画

時間	学習内容	自己決定（自己調整）の主体		
		学習目標	学習活動	学習過程
1時間目	【キーワード】住民自治・団体自治・地元分権・民主主義の学校・国政と比較して	教師	教師	教師
2時間目	【キーワード】地方公務員の仕事・元代議制・直接選挙権・国政と比較して	教師	教師	教師
3時間目	【キーワード】地方行政・ふるさと納税・人口減少への対応	教師	教師	教師
4時間目	守口市の実情について情報を集めよう	教師	教師	生徒
5時間目	既存の知識をもとに、広報ひらくなどを用いて、市政の現状課題について情報を集める	生徒	生徒	生徒
6時間目	守口市の市政の現状課題をまとめよう	生徒	生徒	生徒
7時間目	守口市の市政の現状課題を、市民の意見として、行政に提出しよう	生徒	生徒	生徒
	他者のアドバイスを踏まえて、市民として行動するための提案文を作成する	生徒	生徒	生徒

（事例は単元の6時間目）

まとめ表現

本時のふり返りを記入し
提言文のまとめ方を決定する

今日のふり返り

守口市の特産物の代表である守口大根は、各前回は見ているけれどスーパーで見たんだ見つけたところあまり知らないため、どうすれば良いか方法と話し合った。対話をして、イベントを増やしたりする、そのイベントを上り多くの人に知つてもううために情報の発信を増やしたりするなどが出た。また、私は過去に守口市の復活の話をめざし、市外以外の調査方法を考えがてあまり実行されなかつたことを知り、友達や自分の意見、さらに実際に向けてお金の面も考えて提言文を書きました。

整理分析

自身の考える市の課題に対する解決策をまとめる



図書や市の広報等
も参考にする

単元のまとめ(提言文)

取組みを通しての子どもの変容

- ・探究サイクルの中で、自己決定の主体のめやすを3要素（課題・過程・形態）でデザイン（単元で構想）
- ・学習課題、過程、形態の選び方とふりかえりの書き方を教員、生徒間でリーフレットにより共有
- ・上記を支え、より駆動させるために、日々の取り組みや校内での好事例をTeamsやポータルサイトで発信

取組みの概要・ポイント

課題設定

市の課題だと感じるテーマを生徒が決め
本時のめあてをExcelに記入

名前	自分が選んだテーマ	今日自分が頑張ろうと思うこと
	産業・仕事	守口市の産業への取り組みについて、同じテーマを選んだ人から情報を集めてレポートの作成の参考にし生かす。
	防災・減災	防災、減災で守口だけの取り組みなどを友達の意見聞いて、レポートに活かすこと相談する
	自然・環境	同じテーマの仲間と話し合い情報を得て分かりやすくまとめる
	教育・子育て	守口が今どのような取り組みを行っているか仲間から情報を集めてしっかりまとめる
	福祉・医療	福祉や医療の課題を明確にし、課題を解決するために必要なことを調べて考え、わかりやすくまとめる



本時に働かせる
見方・考え方や
1時間の流れを必ず提示



↑ 詳細はクリックで確認を

学び方とふりかえりの
書き方をまとめた
リーフレットを教室掲示



生徒集会でも共有

情報収集

選んだテーマをもとに意見交流をして、
追加で情報を収集する

仲間①	選んだテーマ	仲間の意見から得た情報	仲間②	選んだテーマ	仲間の意見から得た情報
	産業・仕事	守口市の経済向上に日々努力しているが、まだ伸び悩んでいます。それは他の地元都市で守口大根についてあまり知られていないので、SNSでの発信や小学生等で守口の未来を語られるイベント等で守口の未来を語られることが必要です。		産業・仕事	守口市に近隣の施設と一緒にして、守口の特徴をより多く伝えたいです。それは他の地元都市で守口大根についてあまり知られていないので、SNSでの発信や小学生等で守口の未来を語られるイベント等で守口の未来を語られることが必要です。
	歴史・文化	歴史的建造物や活動、豊富でいいのかどうか、されない場合はどのような工夫がされているのか、守口の歴史や文化をより多く伝える方法を教えてください。		自然・環境	自然保護や環境問題について、守口市が取り組んでいる取り組みを詳しく教えてください。
	福祉・医療	QRコードを読み取ると、守口の特徴などと共に守口の特徴を詳しく説明する高齢者の紹介所で実施して伝えています。QRコードを読み取ると、守口の特徴を詳しく説明する高齢者の紹介所で実施して伝えています。		福祉・医療	高齢者が持っていない人でも、守口などの特徴を学べたり、作ったものを交換したりすることができます。



テーマが同じ人や違う人を選んで自分の考えの交流



ポータルサイトでも情報発信

- ・日々の授業動画
- ・実践レポート
- ・取組み報告資料

など

◎タブレット端末を“情報を活用する手段”として使用できるようになった。（以下タブレット端末の使い方に関するアンケート結果 R6.2月 → R7.11月）

- | | | | |
|--|---------------------------------|--------------------------------|-------------------------|
| ・情報を集めることができる 95%→95% | ・情報を整理することができる 80%→96% | ・情報を比較することができる 70%→94% | ・友達と考えを共有しやすくなる 75%→98% |
| ・情報をわかりやすく伝えることができる 86%→90% | ・自分に合ったペースで学習を進めることができる 76%→92% | ・友達と協力しながら学習を進めることができる 76%→95% | |
| ◎自分の興味に合わせてテーマを選んだり、必要に応じて友達と交流したりしながら学習を進めるなど、主体的に授業を受ける生徒が増えた。 | | | |